



交通安全対策について

篠木 正明 議員



質問 交通安全施設（信号機・道路標識・道路標示等）の整備をどのように推進しているのか、お尋ねします。

答弁 交通安全施設の内、「止まれ」や「横断歩道」などの規制や指示の道路標識や道路標示は公安委員会や道路標示は公安委員会の管轄となりますが、交差点や通学路などの警戒標識、

注意喚起の文字表示、歩道橋、ガードレールなどは、県や市の道路管理者の管轄となります。地域住民より寄せられた要望は管轄する関係機関に情報提供や早期対応を依頼するとともに、相互連携を図りながら交通安全対策を講じています。

質問 横断歩道など、消え

かかっている道路標識が多
くみられます。問題のある
所は警察を通じて速やかな
対応を求めているとのこと
ですが、私が松原と緑町2
丁目地内の信号機のない横
断歩道と「止まれ」の道路
標示の調査をした結果、横
断歩道は8か所の内3か所、
「止まれ」は111か所の
内58か所が消えかかっ
ていました。これは異常なこ
とだと思えます。全市的な調
査を行い、その結果を示し
て強力に働きかけることが

必要だと思えますが、どう
考えますか。

答弁 緊急性、危険性が高
いと判断されるものは、警
察に早期の対応を働きかけ
ています。市が緊急性を訴
えることで優先順位を高め
てもらえることもありませ
るので、誠心誠意努めてま
いりたいと考えています。

質問 優先順位を上げても
らうようやっています。「止
まれ」の半分以上が消えか
かっているのです。ですか
ら、警察に働きかける時に、

データを示してやるべきだ
と言っているのです。「道
路標識が半分以上消えてい
ることをどう考えているの
か」と強い交渉をしていた
だきたいと思えます。

次に、安全運転支援シス
テムの普及促進をどう図る
のですか。



日本遺産「里沼」について

小林 信議員



沼のストーリーをどう伝え
るのか

質問 日本遺産「里沼」は、
令和元年5月20日付で文化
庁から認定されました。茂
林寺沼は、里沼の原風景と
信仰が共存する「祈りの沼」、
多々良沼は、水を利用して
麦やコメ、川魚などが多く
生産や収穫されたことによ

り「実りの沼」と名付けら
れ、城沼は、館林城と名勝
つつじを守ってきたことか
ら「守りの沼」と名付けら
れましたが、この地を訪れ
た方々に、このストーリー
をどのように伝えていくの
か。

答弁 ガイドブックや案内板設置
対外的な発信として

ガイドブックやパンフレッ
ト等を作成、市内42か所に
構成文化財の案内板を設置、
また、ARなども活用して
います。

再認定の取組は

質問 日本遺産認定後6年
目で、地域の有形・無形の
文化財を一つのテーマとし
てまとめ、経済活性化の成
果や活性化計画について再
評価されます。構成文化財
の里沼巡りのコースができ
ていますが、訪れた人が
巡るための交通手段とし

て、タクシー会社と提携し
て、観光タクシーの運行も
必要ではないか。日本遺産
水準維持のための強化制度
には、観光客の入込数など
目標達成度や施策の取組を
審査、取組が不十分だと認
定が取消される場合があり
ます。取消しにならないた
めに、どのような取組が行
われるのか。

答弁 観光タクシーについ
ては、市内タクシー会社と
共同し、令和2年度から、

日本遺産「里沼」観光タク
シーとして開始しました。
講習を受けた乗務員がガイ
ドをしながら案内する取組
をしています。観光資源や
観光ツアーなど、観光的な
ものをつなげて、来客数を
増やし、経済効果を高めて
いきたいと考えています。



「実りの沼」多々良沼の
風景